

上部余白 20mm

- 1行 空白
- 2行 表題 (14ポイント中央揃え)
- 3行 サブタイトル (12ポイント中央揃え)
- 4行 所属施設名 (10ポイント)
- 5行 ○発表者名、共同研究者名 (10ポイント)
- 6行 空白
- 7行 キーワード3~5ヶ入力 (10ポイント)
- 8行 空白

I. はじめに

本文 (10.5ポイント)  
段組 明朝体 英数文字は半角  
25×40

左右余白 15mm

段

本文  
段組  
25×40

左右余白 15mm

間

下部余白 20mm

## <原稿記載方法>

- 1) 用紙はA4サイズ、4枚以内（図表を含む）。
- 2) 「ページレイアウト」で余白を上下20mm、左右15mmに設定
- 3) 表題名は14ポイント（中央揃え）、サブタイトル12ポイント（中央揃え）、所属施設名（10ポイント）  
○発表者名、共同研究者名（10ポイント）キーワード3～5ヶ入力（10ポイント中央揃え）
- 4) 上部8行1段組
- 5) 本文は、9行目より「ページレイアウト」→「段組」→「段組みの詳細設定」を選択、「2段」を選択し、「段と幅の間隔」の「段の幅」を25文字、間隔を「3字」に設定、設定対象を「これ以降」に設定する。  
文字サイズは、10.5ポイント。書体は明朝体、英数文字は半角  
文字間、行間は、見やすさも考えて設定する。  
2,000字（25字×40行×2段）句続点が、行の始めに来ないようにする。
- 6) 図・表及び写真を挿入する場合、2段落にとらわれず白黒で見やすい大きさにする。
  - ・図表の文字、数字が判読可能なものを挿入する。
  - ・表1 表のタイトルは上につける。
  - ・図1 図のタイトルは下につける。

### I. はじめ

（取り組みの動機や目的、検討課題や結果を加え、事例の概要が分かる様に簡潔にまとめる）

### II. 研究目的

### III. 研究方法（データの収集方法や分析方法が明記されていること）

### IV. 倫理的配慮（必ず記載すること）

- ・報告に関連する対象者の不利益や負担がないように配慮する。

固有名詞・写真を掲載する場合は、看護の実際を示すのにどうしても必要な場合のみにし、対象者の承諾を得て、その旨を掲載する。または対象者が特定できないようにプライバシーの配慮をする。

署名にて同意を得ている事を記載する。結果に対する貢献も言及する。

### V. 結果

### VI. 考察

### VII. 結論

引用・参考文献 単行本の場合：著者名、著書名、発行所、西暦

雑誌の場合：著者名、テーマ、雑誌名、西暦

(例) ・F・ナイチンゲール著、湯槇ます他訳：看護覚え書き書、P251、現代社、1993.

・渡辺孝子：痛みを持つ癌患者への看護からの新たな取り組み、看護実践の科学、Vol. 25、No. 5、P. 31～34、2000.

#### 【電子文献】

著者名：表題名、雑誌名、巻、頁、発行年、（西暦年次）、アクセス年月日、URL.

発行機関名（調査/発行年次）、表題、アクセス年月日、URL.

\* 公的機関から提供される情報（統計、法令等）、電子ジャーナルのみを対象とする。

- 7) 原稿は、必ずメール送信として提出する。

(連絡先) 公益社団法人川崎市看護協会

Email: mail2@kawa-kango.jp

TEL 044-711-3995

事務局担当 上田 今日子